



12月のストーリーテリング勉強会

2017年12月13日（水） 9:30~12:00

主催：高知県立図書館 参加者：11人 場所：高知県立図書館 3階館長室

1 アナシと五 8分

『子どもに聞かせる世界の民話』（矢崎源九郎/編 実業之日本社）より

【語り手から】

長い間、県立図書館の方々にお世話になりました。新図書館でも宜しくお願いします。

2 海の水はなぜからい 13~14分

『おはなしのろうそく23』（東京子ども図書館/編 東京子ども図書館）より

【語り手から】

小学校3年生~5年生位で語っていました。話がひき臼を中心に次々展開していくように描いて語るように、と心がけています。

3 熊の皮を着た男 20分

『おはなしのろうそく7』（東京子ども図書館/編 東京子ども図書館）より

【語り手から】

心根がまっすぐで人を思いやる優しさももつ若い男と娘が、その心のゆえに悪魔の計り事に陥ることを免れ幸になる話。小学校上級生に語りますが、覚えた10数年前も、今も、よく楽しんでもらえる話です。今日は、勉強会を始めてくださった県立図書館での最後のストーリーテリング。図書館への感謝の思いもこめて語りました。

4 タニシ王子 15分

『子どもに聞かせる世界の民話』（矢崎源九郎/編 実業之日本社）より

【語り手から】

初めてストーリーテリングをさせていただきましたが、頭が真っ白になり、全くだめでした。皆さんの語られる様子を見て勉強し、アドバイスもいただいたので、またリベンジをしたいと思います。

5 マーシャとくま 8分

『マーシャとくま』

(E・ラチョフ/え M・プラトフ/さいわ うちだりさこ/やく 福音館書店) より

【語り手から】

小学1年から3年くらいに語ります。よくついてきてくれる話です。今度は、保育園で語ります。

6 がちょうはくちょう 10分

『おはなしのろうそく27』（東京子ども図書館/編 東京子ども図書館）より

おはなしの所要時間は、語り手の方にお聞きしたものです。

昭和51年より始まったストーリーテリング勉強会。今月は、この建物での最後の会でした。参加していただいた皆様には大変お世話になり、毎回勉強させていただきました。本当にありがとうございました。この勉強会は、新図書館オープン後に再開予定です。長期の休館となり、ご不便をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。